

I 事業報告

1. 概況

「日本人学生向け給与奨学金」を40万円/年に増額した。その他の事業は前年度と同じ内容で計画どおりに実行できた。また Covid-19 で見合わせていた「研究助成金贈呈式」を4年ぶりに開催し、大学訪問による「奨学生・留学生ならびに大学担当者との面談」も実施した。

2. 日本人学生向け奨学事業

2.1 給与奨学金（375名、150百万円）

指定72大学の理系学生対象に385名募集、380名を採用。既給付者など応募条件不適合者を不採用とした。また、採用決定後に体調不良で休学等5名の辞退者があり、今年度は375名に40万円/年・人（合計150百万円）の給付となった。

2.2 海外留学奨学金（4名、6.5百万円）

指定5大学の理系大学院生を対象に各校1名、合計5名に15万円/月・人の奨学金と渡航費20万円を給付する制度。2023年度は5名の応募があり、採用奨学生4名（1名辞退）が23年10月までに留学を開始し、給付している。

2.3 貸与奨学金

2011年度から新規募集を停止し、現在は貸与金の返還のみおこなっている。

今年度は42百万円の返還金があり、完済者66名となった。2023年3月末時点で返還者280名、残債102百万円となった。

3. 海外からの留学生向け給与奨学事業（80名、24百万円）

指定68大学の理系私費留学生80名を募集し、奨学生80名の採用を決定。30万円/年・人を給付した。

4. 奨学生ならびに大学担当部門との面談・交流

4.1 指定大学訪問

Covid-19の影響により中止していた大学訪問を再開し、大学担当部門との意見交換、奨学生と留学生との面談を実施した。

4.2 海外からの私費留学生との懇談交流

12月に実施していた首都圏所在大学の海外からの留学生との懇親交流会は、本年度より廃止とし、留学生との面談に代える。

5. 研究助成事業（30名、60百万円）

指定36大学に学内選考と推薦(Max2名)を依頼し、28大学から46名の応募があった。

選考委員会審査の結果、22大学30名(女性4名)に200万円/人、計60百万円助成した。

Covid-19 の影響により中止していた「研究助成金贈呈式」を、9 月 1 日東京ステーションホテルにて、文科省から来賓をお迎えして 4 年ぶりに執り行った。

また、2021 年度贈呈者の 2 年間の成果として研究報告集 Vol.40 を発行した。

公益財団法人 日揮・実吉奨学会 奨学金および研究助成金の指定大学一覧(2023年度)

大学 コード*	大学名	日本人		留学生		研究助成金	
		給与 (人数)	留学	給与 (人数)	奇数年	偶数年	
01	北海道	9		2		—	
02	東北	9		2	○		
03	東京	11	○	2	○		
04	京都	11		2			
05	大阪	11	○	2			
06	九州	11		2			
07	東京工業	9	○	2	○		
08	横浜国立	6		1		—	
09	岩手	3		1	○		
10	千葉	7		2			
11	新潟	4		1	○		
12	金沢	4		1		—	
13	名古屋	9		2	○		
14	神戸	7		1	○		
15	岡山	5		1	○		
16	広島	5		1		—	
17	徳島	4		1	○		
18	長崎	2		1	○		
19	熊本	4		1	○		
20	宮崎	3		1	○		
21	鳥取	4		1	○		
22	秋田	2		1		—	
23	山形	5		1		—	
24	群馬	3		1	○		

大学 コード*	大学名	日本人		留学生		研究助成金	
		給与 (人数)	留学	給与 (人数)	奇数年	偶数年	
25	福井	3		1	○		
26	静岡	7		1	○		
27	山梨	3		1	○		
28	名古屋工業	5		1		—	
29	山口	4		1	○		
30	九州工業	5		1	○		
31	室蘭工業	3		1		—	
32	東京都立	5		1		—	
34	早稲田	11	○	2		—	
35	慶應義塾	9	○	1		—	
36	芝浦工業	9		1		—	
37	東京電機	9		1	○		
38	日本	11		1	○		
39	中央	4		1		—	
40	学習院	1		○		—	
41	東京理科	11		1	○		
42	千葉工業	9		1		—	
43	成蹊	1		○		—	
45	鹿児島	5		1	○		
47	東京都市	4		1		—	
48	上智	2		1	○		
49	関東学院	3		1	○		
50	信州	7		1		—	
52	埼玉	4		1		—	

大学 コード*	大学名	日本人		留学生		研究助成金	
		給与 (人数)	留学	給与 (人数)	奇数年	偶数年	
53	富山	3		1	○		
54	琉球	3		1	○		
55	茨城	4		1		—	
56	東京農工	5		1	○		
57	岐阜	4		1	○		
58	愛媛	4		1	○		
59	北見工業	2		1	○		
60	宇都宮	2		1	○		
62	佐賀	3		1		—	
63	大分	1		1		—	
64	兵庫県立	3		1		—	
65	豊橋技術科学	2		1		—	
66	長岡技術科学	2		1		—	
67	筑波	7		2		—	
68	工学院	7		1		—	
69	東海	11		1		—	
70	電気通信	4		1		—	
71	立命館	8		1		—	
72	日本女子	1		○		—	
73	東京海洋	3		1	○	—	
74	明治	9		1	○		
75	同志社	5		1	○		
76	お茶の水女子	1		○	○		
77	大阪公立	8		2		—	

* 日本人向け奨学金	給与 385名/72大学	留学 12名*/12大学*
* 留学生向け奨学金	給与 80名/68大学	
* 研究助成金	35名前後* (36大学)	

【大学欠番コード】 No33(大市大→No77), No.44(九芸工→No6), No.46(武蔵工→No.47), No.51(大府大→No77), No.61(三重)

2023年度 研究助成金受給者名簿 22大学30名

大学名	氏名	所属	職名	研究題目
東北大学	岩瀬 和至	多元物質科学研究所	講師	グリーン水素製造に向けたハイエントロピー触媒精密合成のためのプロセスインフォマティクス
東北大学	濱本 亨	農学研究科	助教	土壌微生物の炭素利用効率と戦略に基づく土壌炭素貯留の最適化
東京大学	坪山 幸太郎	生産技術研究所	講師	生命活動を司るタンパク質の生体内寿命の全容解明
東京大学	塚本 孝政	生産技術研究所	講師	ユビキタス無機材料の1nmスケールリングによる新奇電子物性の創出
東京工業大学	織田 耕彦	物質理工学院	助教	超臨界エマルジョン空間を利用したAgナノ粒子の精密フロー合成
東京工業大学	HUANG PO JUNG	理学院	助教	酸化還元活性な有機分子を利用した電気伝導性界面の創出と非反転対称電子輸送の機能開拓
岩手大学	白 蘭蘭	理工学部	助教	オオコウモリ由来の無限分裂細胞の樹立およびその抗ウイルス性の機構解明
名古屋大学	織田 晃	工学研究科	助教	カーボンニュートラル実現に資する天然ガス選択酸化触媒設計学の超探査
岡山大学	田中 健太	異分野基礎科学研究所	助教	0-キノジメタンの光触媒的発生を基盤とする π 共役分子の環境調和型合成
長崎大学	DAO THI NGOC ANH	工学研究科	准教授	金/プロドラッグナノ粒子の創製とそのバイオ応用
熊本大学	関根 良博	大学院先導機構	准教授	ドナー・アクセプター分子集積化による極性機能発現
熊本大学	張 中岳	国際先端科学技術研究機構	准教授	新奇な電子、電気化学特性を持つ2次元共役性MOFヘテロ構造体の開発
群馬大学	二宮 和美	理工学府	助教	穀物タンパク質による食後血糖値の上昇抑制作用と加工特性に関する研究
福井大学	吉田 達哉	学術研究院 工学系部門	准教授	粉碎プロセスにおける振動放射音の周波数スペクトル分析と機械学習を活用した粉碎粒子径推定技術の開発
静岡大学	大多 哲史	工学部	准教授	磁性膜小胞と磁気検査プローブ開発による血中循環がん細胞を標的としたがん診断治療技術の創成
静岡大学	長尾 遼	農学部	准教授	光化学系II膜表面性タンパク質の分子進化に関する構造基盤
九州工業大学	高辻 義行	生命体工学研究科	准教授	金属触媒電極による二酸化炭素資源化の特性向上
東京電機大学	高橋 俊介	理工学部	准教授	乳酸菌に植物由来薬用医薬品原料の生産能力を付与し、腸内に直接薬効を発現させる萌芽的研究
鹿児島大学	玉川 直	学術研究院医歯学域医学系	助教	樹突突起の決定・発達関連分子を網羅的に同定するin vitro実験系の開発
富山大学	岡田 卓哉	工学部	助教	PAC1受容体を標的とした次世代型 難治性疼痛治療薬の開発
東京農工大学	有泉 亮	工学府	准教授	壁と壁に挟まれた狭空間で活動するヘビ型ロボットのためのモーション設計
岐阜大学	渡邊 将	医学系研究科	助教	γ 型プロテインキナーゼCに注目した、小脳機能にヘテロ性が生じる機構の解明
愛媛大学	下元 浩晃	理工学研究科	准教授	親水性ポリ(置換メチレン)の合成と機能開拓
愛媛大学	松本 圭介	理工学研究科	准教授	極低温冷凍のための希土類炭化物系磁性蓄冷材の創製
宇都宮大学	吉田 聡太	大学教育推進機構	助教	機械学習を用いた核子多体系の第一原理計算手法の開拓と原子核構造の解明
明治大学	松田 匠未	理工学部	専任講師	広域海洋観測を実現する自律型海中ロボット群による同時多点測位手法の開発
明治大学	鈴木 来	理工学部	助教	骨形成と骨吸収を自在に制御する次世代人工骨の創製
同志社大学	山本 大吾	理工学部	准教授	ゲル中での拡散混合を利用した機能性微粒子合成法の確立
お茶の水女子大学	五十嵐 悠紀	理学部	准教授	実世界とバーチャル空間をシームレスに行き来するデザイン支援技術の開発
お茶の水女子大学	岩崎 貴也	基幹研究院	講師	ゲノム情報に基づく野生生物の地域適応を組み込んだ高精度な気候変動影響予測技術の開発